

ウィーン交響楽団チェリストのシュルツ氏、ドイツで活躍するヴァイオリニストのトエルケ氏等を迎えた、スペシャル公演をお届けします。馴染みの曲も演奏しますので、どうぞお楽しみに。

秋を彩る室内楽の夕べ



Brughard



Toelke



Christian Schulz



Tadahiro YANO

Yuna KOBAYASHI

令和7年 **10月30日(木)**

19:00 開演(18:30 開場)

笛吹市スコレーセンター「集会室」



プログラム

フルート四重奏曲第一番/W.A モーツァルト 他

全席自由

一般 1,000 円(当日 1,500 円)
高校生以下 500 円(当日 1,000 円)

プレイガイド

笛吹市スコレーセンター ☎ 055-263-7959
YCC 県民文化ホール ☎ 055-228-9131
内藤楽器本店 ☎ 055-235-7110

【主催】公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団

【協賛】内藤楽器本店

【問合せ】笛吹市スコレーセンター ☎ 055-263-7959 ・ 薬袋 貴 ☎ 090-8847-6600



財団 HP アドレス

◇Brughard Toelke ブルクハルト・トエルケ (ヴァイオリン)

ハノーバー生まれのヴァイオリニスト。ウィーン市立音楽芸術大学で芸術修士と芸術教育修士の学位を取得。アマデウス四重奏団のノルベルト・ブレイニンやアイザック・スターンなどに師事した。ユーグント・ムジツィエルト、フィデリオ・コンクールなどにて優勝。ゲストコンサートマスター兼ソリストとして、シュターツバート・フィルハーモニー・キッシンゲン等にて活躍。

ウィーンのリヒャルト・ワーグナー音楽院でヴァイオリンとヴィオラの教授を務め、2022年1月からマインツ市立ペーター・コルネリアス音楽院で教授を務めている。



◇Christian Schulz クリスティアン・シュルツ (チェロ)



ウィーンの有名な音楽一家に生まれる。ウィーン国立音楽大学卒業後、室内楽奏者、ソリスト、ウィーン交響楽団のチェリストとして現在も活躍中である。

1997年ウィーン交響楽団のメンバーからなる「ウィーン・アンバサデー・オーケストラ」音楽監督として指揮活動始める。国際的指揮者のフェドセーエフ、クライツベルク、ウェルザー＝メストなどのアシスタントを務める。これまでにプカレスト・エネスコフィルハーモニー、ハレ州立管弦楽団、バンクーバーオペラ、ウィーントーン・キュンストラ管弦楽団、オタワ交響楽団、ウィーン交響楽団を指揮する。2005年よりモーツァルト・コレギウム・ウィーン的首席指揮者を務める。2007/2008の

シーズンではウィーン・フォルクスオペラでヘルムート・ローナー演出の「魔笛」を指揮、録画にも参加した。

日本における活動では、2010年よりアンサンブル・神戸及び山梨交響楽団等の定期演奏会を度々指揮し、好評を博している。父は、元ウィーン交響楽団のチェリスト、叔父は、アルバンベルク弦楽四重奏団のヴァイオリニスト、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者の故ウォルフガング・シュルツなど様々な音楽家を配しているファミリーの一員である。

Tadahiro YANO 矢野正浩 (フルート)

武蔵野音楽大学首席卒、ザルツブルグモーツァルトウム音楽大学を経てドイツ国立トロッシンゲン音楽大学大学院修了。在学中よりフィルハーモニシエスオーケストラ・シュトゥットガルトメンバーとしてドイツ各地で演奏、録音を行う。1994年フィンランド、ヨエンスウ市立管弦楽団首席フルート奏者として入団。

1996年より自身の主宰する室内オーケストラ“アンサンブル・神戸”の指揮者としても活躍している。第2回松方ホール音楽賞 管楽器部門大賞受賞。平成20年度、神戸市文化奨励賞受賞。令和2年神戸文化賞受賞、令和3年文化庁芸術祭優秀賞受賞。2007年NHK名曲リサイタルに出演。ムラマツ・フルート・レッスンセンター講師。



Yuna KOBAYASHI 小林侑奈 (ピアノ)



山梨英和中学、高校を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻を卒業。同大学卒業演奏会に出演。イタリア・パスカラ音楽院にてミケランジェリの高弟、ブルーノ・メッツェーナ氏のもとで研鑽を積む。2013年、ルチアーノ・ルチアーニ国際音楽コンクールにて最高位を受賞したことをきっかけに、イタリア各地でリサイタルを開催、好評を得る。

これまでに長沢あけみ、田崎悦子、黒田亜樹、ブルーノ・メッツェーナ、オラーツィオ・ショルティーノ各氏に師事。松尾葉子氏指揮、トリフォニーホールジュニアオーケストラとリスト：ピアノ協奏曲第1番、船橋洋介氏指揮、ふじのくに交響楽団(静岡交響楽団)とベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番“皇帝”を協演。

現在、日本及びイタリアにてソリスト、室内楽奏者として演奏活動をしながら後進の指導にも力を入れている。PTNAピアノコンペティション審査員。「スクリャーピン全曲録音プロジェクト」メンバー。

このほか、ヴィオラやオーボエの奏者を加えて演奏する予定。



スコレーセンターで開催される今後のコンサート情報はこちらから受け取れます。⇒

財団公式 X